

平成29年7月26日  
農林振興センター益田農業普及部

標 題 日原タラの芽生産組合30周年記念大会が盛大に開催される

(ダイジェスト)

日原タラの芽生産組合(会員35名/会長 永田寿秋)は今年度で設立30年を迎えました。これを祝して、7月1日(土)に津和野コミュニティセンターで記念式典が盛大に開催され、これまでの功績を称えるとともに今後のますますの発展が宣言されました。

日原タラの芽生産組合は、昭和63年に結成された生産者組織で、タラの芽、ウルイ、コゴミなどの山菜を年間約3,000万円出荷しています。この度、設立30周年記念大会が行われ組合員やその家族、関係機関担当者ら約70名が出席しました。

会の冒頭で永田寿秋組合長は「この地で農業をしたいという強い思いが産地を育てた」と述べ、功績を称えました。また、組合で作成した記念VTRが披露され、これまでの歩みを振り返る映像に出席者は感銘を受けました。最後に若手農業者を代表して竹内和善さんが「若い力でさらに産地を盛り上げる」と力強く決意表明しました。

大会終了後は懇親会が行われ、親睦を深めるとともに生産意欲がいっそう高まった様子でした。

タラの芽をはじめとする山菜栽培は、中山間地で冬期に収入が期待できる重要な作物として位置づけられており、最近ではUIターンの新規就農者に積極的に取り組まれています。



記念式典の様子



式典終了後の懇親会